



前期末アンケートありがとうございました

先日の学習発表会には、たくさんのご参観をいただきまして、ありがとうございます。子どもたちは、大きな声ではっきりと発表する、気持ちをこめてセリフを言う、心を合わせて演奏する、きれいな歌声を聴いてもらう、お客さんに喜んでもらうなどのそれぞれのめあてをもって本番を終えた事と思います。昨日からは、12月の二条城マラソンに向けて、中間ジョギングが始まりました。寒い毎日ですが、自分の目標をたてて、最後まで頑張る姿を見守っていききたいと思います。保護者の皆様もぜひ、ご協力、応援をよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、前期末にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をたくさんいただきました。(回収率88%) いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。遅くなりましたが、集計結果をお知らせいたします。

保護者 139名 ・ 児童 158名 ・ 教職員 12名

A=できている

B=どちらかといえばできている

C=どちらかといえばできていない

D=できていない

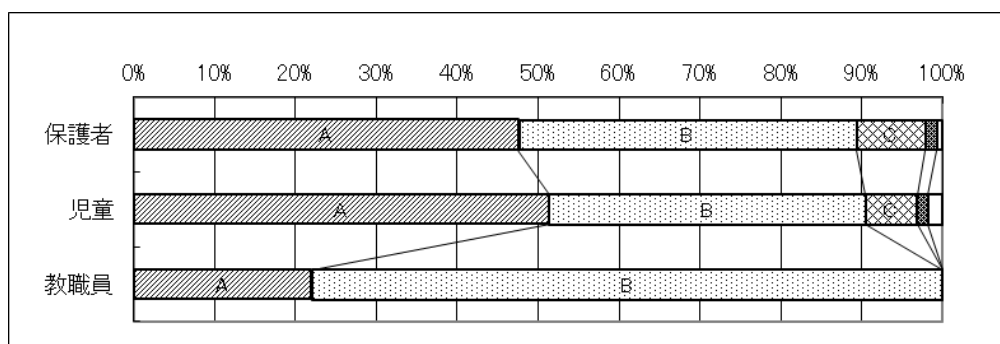
(無=無答)

*教職員につきましては、職種により、無答になってしまう項目があるため、回答したものを母数とした割合で出しています。

① 子どもは授業がわかると話している。(保護者)

授業はよくわかりますか。(児童)

教材研究・教材作成に努め、一人一人にわかる授業を工夫している。(教職員)

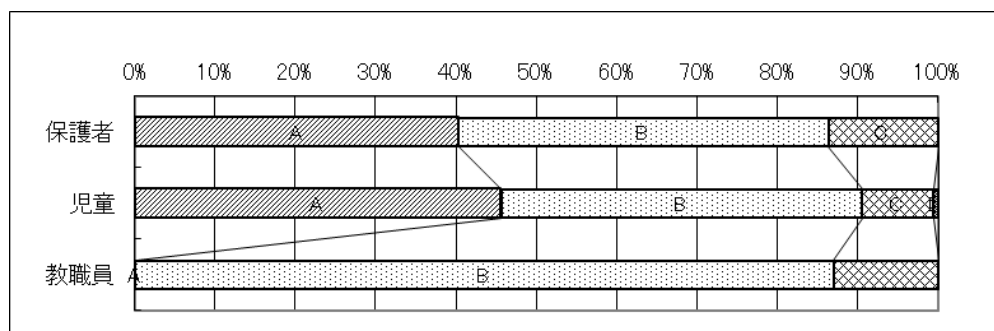


保護者、教職員は昨年度後期とほぼ同じような結果になりました。児童のAB評価がわずかですが下がってしまったことは、大変残念ですが、このことを真摯に受け止めて児童の実態を把握しながら日々授業をしていく必要を感じます。学年別で見たとき、低学年にCD評価が多い傾向があることから、指導者は常に児童の達成度を見極めながらスモールステップを大切にして授業を構築していきたいと思っています。学習の基礎基本である「話をしっかり聞く」ということを再度徹底して指導し、達成感をもって、次に進めるよう支援していこうと思います。

② 子どもは家で宿題や復習などはできている。(保護者)

家で宿題や復習などはできていますか。(児童)

家で宿題や復習などができている。(教職員)

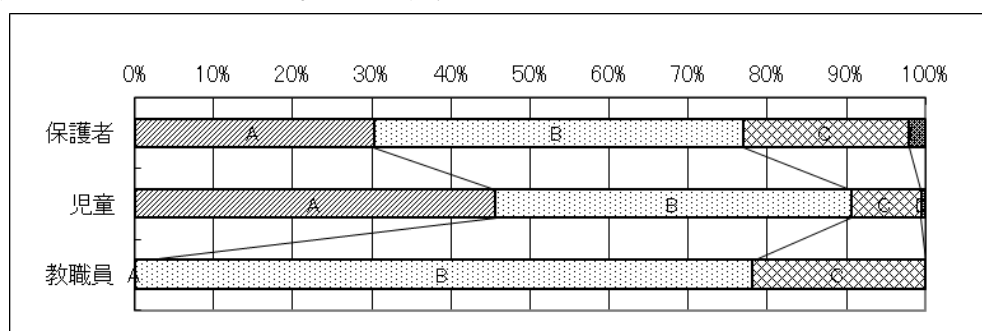


以前よりも保護者と児童の差がなくなりました。家庭学習のめやす時間は学年×15分とされています。1年生なら15分、6年生なら90分くらい宿題、予習、復習、読書をしてほしいと考えています。高学年になるにつれて、宿題だけではなく、自分で決めた学習に取り組めるよう、教室でも話したり、ノートを提出させたりしていますが、ご家庭でも同じことを言い、チェックをしてあげていただきたいと思います。6年生は91%の児童が「できている」と答えていますが、学習内容の質をあげることに組み込んでいけたらと思います。

③ 子どもは忘れ物をしないで登校している。(保護者)

学習用具は忘れずに持ってきていますか。(児童)

学習の用意ができている。(教職員)

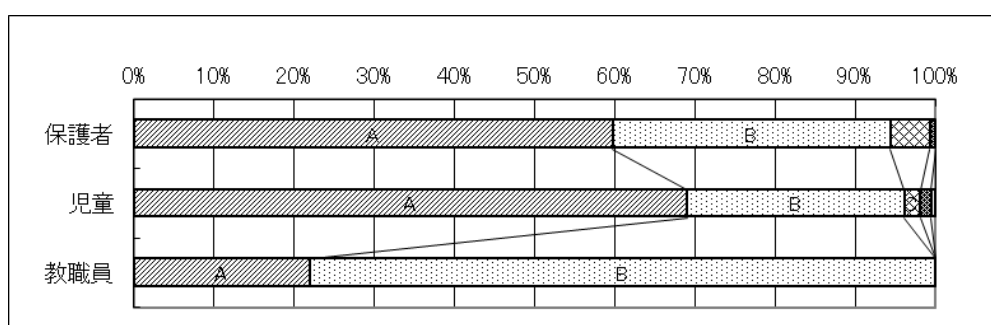


昨年度後期に比べて、保護者、教職員はほぼ同じ割合なのに対し、児童の評価が下がりました。学習準備が整っていないと意欲もわきにくく、学習に支障があることも多いです。家庭とも連絡を取りながら、メモを取る、帰ったらすぐに用意するなど具体的な方法を教えていきたいと考えます。また、学校に上着や体操服を忘れて帰る児童が多いです。物を大切にするという意味でも持ち物には名前を書く習慣をつけていけるようご協力お願いいたします。

④ 教職員は子ども一人一人を大切にした教育活動を行っている。(保護者)

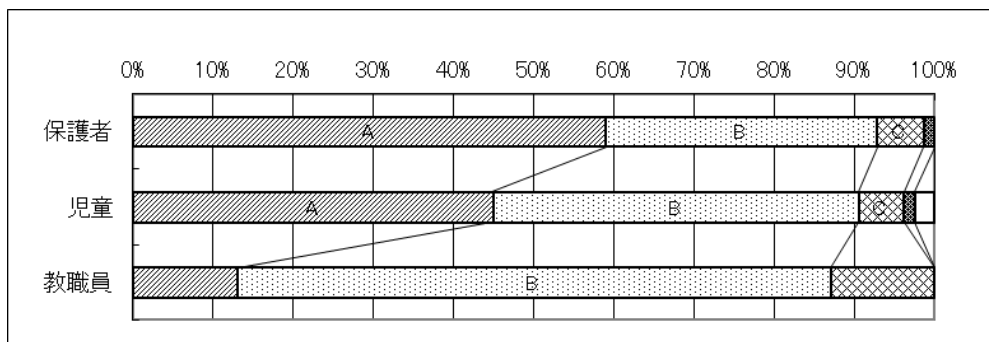
先生は一人一人のことを大切にしてくれていると思いますか。(児童)

子ども一人一人をしっかり理解し、個に応じた指導ができている。(教職員)



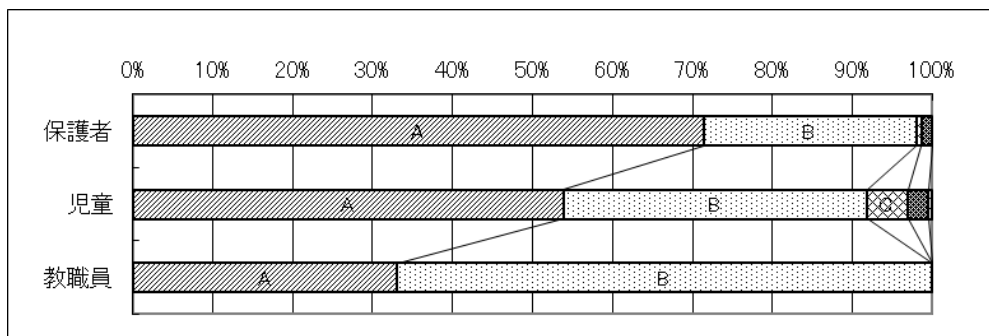
児童のA評価が昨年より7ポイント上がりました。児童のやる気を引き出すのは、自己肯定感、有用感であると言われています。大切にされているという思い、自分の言っていることを受け止めてもらえるという安心感がいろいろな活動の支えになることを自覚してこれからも一人一人を大切にする教育活動を進めていきたいと思ひます。

- ⑤ 教職員は、子どもが意欲的に取り組めるよう指導に努めている。(保護者)
 授業中は話をしっかり聞き、学習に取り組んでいますか。(児童)
 子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



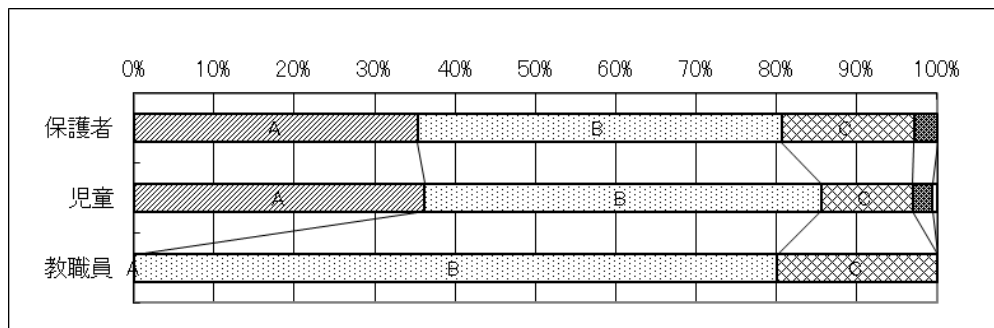
昨年度に比べ、保護者のAB評価が上がり、児童のAB評価が下がりました。本校は国語科の研究で「伝え合う」ということをテーマに授業研究に取り組んでいます。友達の言っていることをしっかりと聞いて、自分の思い、考えを伝えられるような子どもを育てようと授業の工夫をしてきました。学習に限らず人の目を見て、相手の話を聞く、自分の気持ちを言うコミュニケーション能力はこれからもつけていきたい力です。学校と家庭、地域とも連携して、暖かい言葉のキャッチボールのできる子を育てたいと思ひます。

- ⑥ 子どもは毎日楽しく学校生活を送っている。(保護者)
 学校生活は楽しいですか。(児童)
 子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。(教職員)



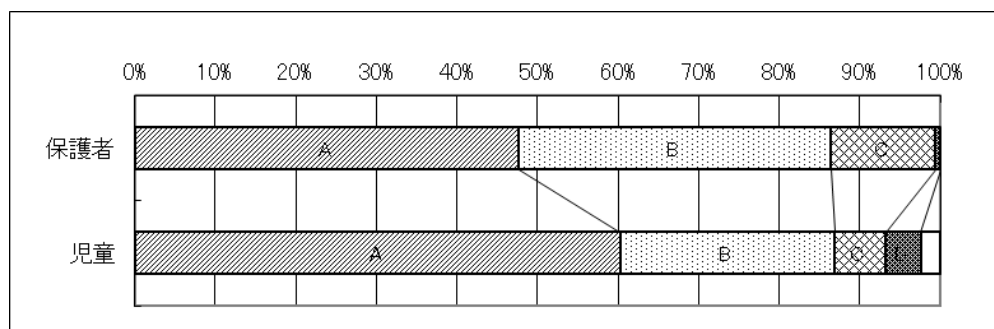
児童のCD評価が増えて残念です。およそ12人の子どもが学校を楽しんでいないと思ひています。④の設問と同じで一人一人の思いをしっかりと聞いて、学校を楽しんでいると感じられる取組を今後も続けていきたいと思ひます。子どもは失敗やつまずきの中から学んでいくこともたくさんありますが、その子のその時の状況にあった支援をして、頑張ってよかった、友だちと仲良くできてうれしいと思えるよう取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でもお気づきの事があれば「先生に言ってみたら?」「友達に相談したら?」と後押ししてあげてくださるとありがたいです。

- ⑦ 子どもは元気にあいさつができる。(保護者)
 元気のよいあいさつができますか。(児童)
 子どもたちは、元気にあいさつができるようになっている。(教職員)



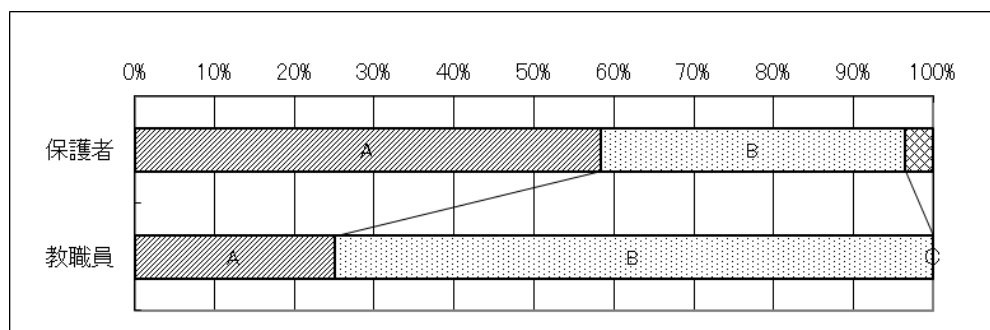
昨年に比べ、保護者はほぼ同じ、児童は自己評価は上がり、教職員の評価は下がりました。教職員は、心を込めて、場に応じて、来校者や地域の中でも挨拶できる事を望んでいます。自分から進んでできるようにも指導しています。地域でも見守り隊の方から挨拶をしてくださっても小さい声で返すだけの児童が多いようです。ぜひ大人がお手本となって、しっかり挨拶できる子を育てていきたいと思います。後期の重点指導項目として全校で指導したいと思います。

- ⑧ 子どもは家庭で学校のことや友だちのことを話している。(保護者)
家で、学校であったことを話しますか。(児童)



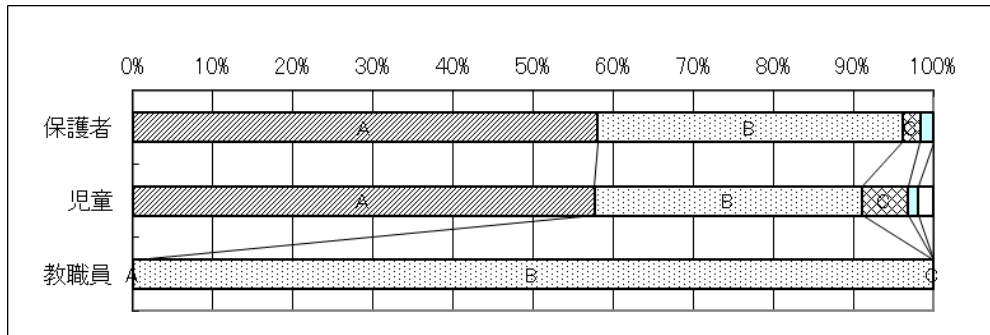
保護者・児童共にCD評価が増えて残念です。自由記述欄にも書いていただきましたが、ゆっくり子どもの話を聞く時間を取れていない、というご家庭からの反省もありました。親が忙しくて、子どもはテレビやゲームで時間を使っているという日常があればぜひ見直して時間を作っていただけたらありがたいです。

- ⑨ 学級は、明るくあたたかい雰囲気で、子どもは学級集団になじんでいる。(保護者)
いじめや仲間はずれのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)



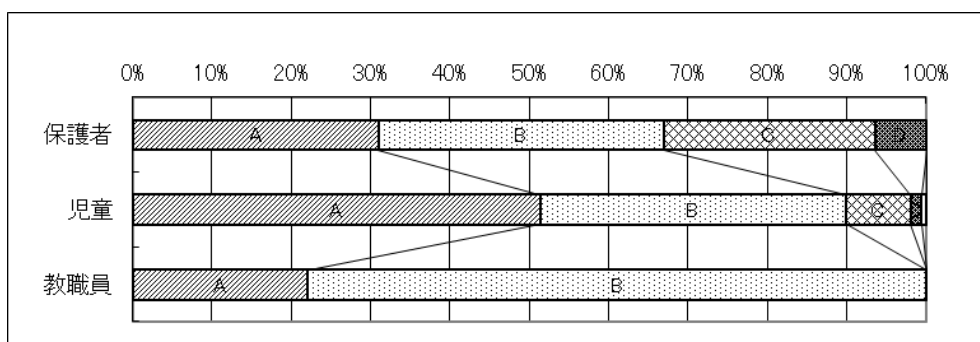
前期にも関わらず保護者の評価が上がり、嬉しく思います。子どもたちが楽しく学校に通い、しっかり勉強するという当たり前のことを、これからも大事にして取り組みたいと思います。子どもたちが学校生活をおくるうえで、学級集団の雰囲気はとても大事な要素です。定期的に行う教育相談や保護者の方との話の中から課題を見つけ、きめ細やかに対応していきたいと考えています。

- ⑩ 学校は、あたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。(保護者)
 友だちにやさしくできていますか。(児童)
 子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



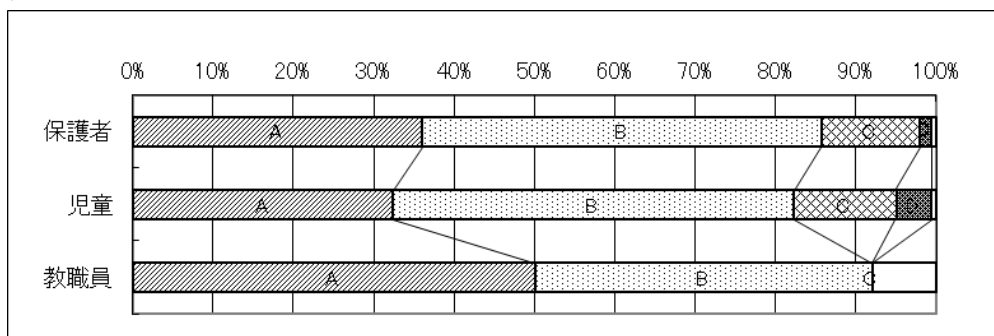
昨年度に比べ児童のC評価が上がりました。子どもたちの言葉遣いを聞いていると、友だちを呼び捨てで呼んだり、「あほちゃうか」「あっちいけ」など心無い言葉を聞くことがあります。周りにいる大人がその言葉に敏感になって、「言われた相手の気持ちを考える事」「自分の値打ちも下げている事」など話していきたいと思います。縦割り活動でみる異学年間の交流では優しい表情や言葉をたくさん見聞きすることができます。今後も幅広い人間関係の中で優しさを発揮させたいと考えます。今後も取組を重ね、思いやりあるあたたかい心の育成に努めます。

- ⑪ ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーに取り組み、本を読んでいる。(保護者)
 毎月、ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーに取り組み、本を読んでいますか。(児童)
 おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになってきている。(教職員)



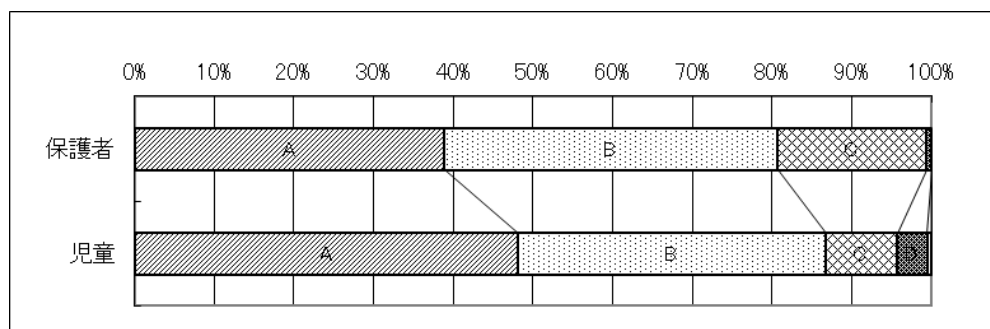
90%の児童が本に親しんでいると答えていますが、児童のA評価が8ポイント下がりました。また、保護者は30%の方が、ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組ができていないと考えておられます。この項目は特に児童と保護者の差が激しく分析が必要かと思います。児童は学校では朝読書や少しのあいた時間に本を読む習慣がついてきているのですが、家ではきっと本を読む機会が少ないのでしょうか。読書は知識を増やすだけでなく、想像する力や豊かな情操を引き出し伸ばすことができます。ぜひ少しの時間で結構ですので家でも読書をする時間を取っていただけるといいと思います。

- ⑫ 子どもは好き嫌いせず、バランスのよい食事をしている。(保護者)
 学習したことを生かして、好き嫌いせず（バランスよく）食べていますか。(児童)
 食育の年間計画に基づき、題材や授業の展開を工夫した職に関する授業に取り組んでいる。(教職員)



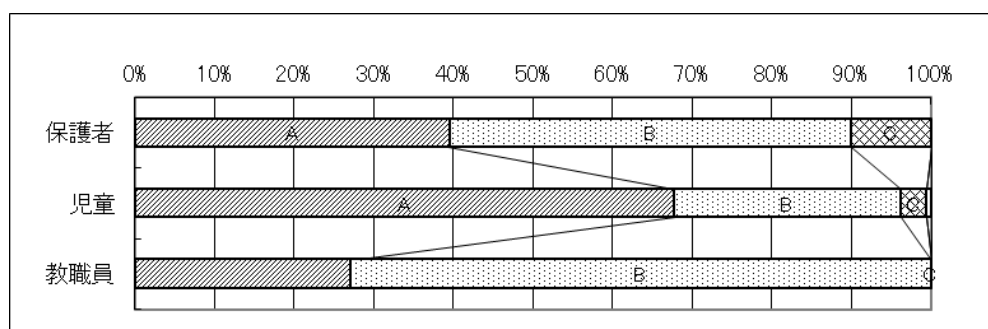
保護者のCD評価は下がり、児童のCD評価は上がりました。夏休みにはご家庭の協力のおかげで全員が朝ごはんづくりや食事づくりに取り組むことができました。成長に大切なこの時期に、様々な食材に親しみ、主体的に食と関わっていける子どもを家庭、学校で協力して育てていきたいと考えています。

- ⑬ 子どもは放課後や休日に運動や外遊びをしている。(保護者)
 放課後や休日には、運動や外遊びをしていますか。(児童)



保護者のAB評価が上がりました。子どもたちは休み時間元気いっぱい運動場で遊んでいます。また、さまざまな部活動にも精一杯取り組んでいます。5、6年生は朝みんなでランニングをして体と心を鍛えています。放課後や休日の遊びには安全面の配慮が必要だと思いますが、できるだけ元気に遊んでほしいと思います。二条城マラソンに向けてご家族でジョギングなどしてみてはいかがでしょうか。

- ⑭ 通学路や通学方法を把握し、登下校時の安全や緊急時の連絡方法などについて子どもと話し合っている。(保護者)
 通学路を守り、安全に気をつけて登下校していますか。(児童)
 安全についての指導が計画的にできている。(教職員)

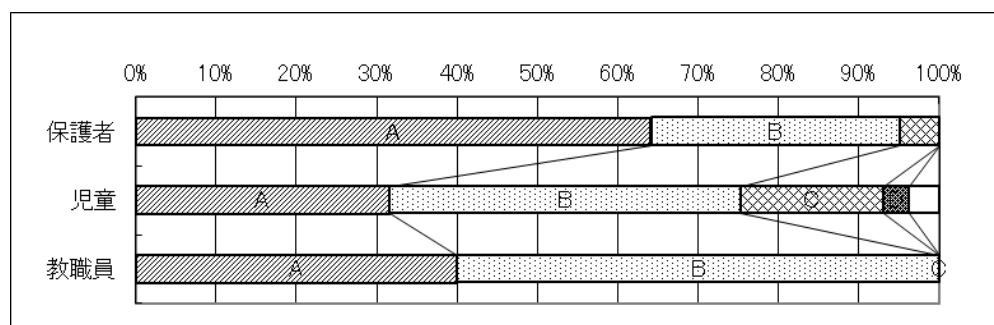


昨年度より少しではありますが全体的にA B評価があがっています。昨年度道路交通法が改正され、自転車の運転にも自己責任が問われるようになっていきます。今年度は5, 6年生に交通安全教室を実施し、歩行者にけがをさせたりしないよう、警察署の方に指導してもらいました。自転車の乗り方などは、まず大人が見本を示すとともに、折に触れて安全第一の生活をするようなお話をしていただけるとありがたいです。

⑮ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。(保護者)

困ったときには先生に相談しようと思いますか。(児童)

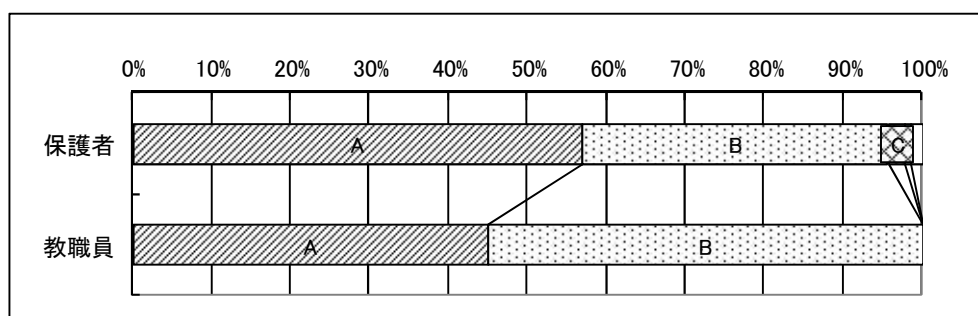
子ども・保護者の思いや願いを受け止め、気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



児童のC D評価が多いのが気になります。また、無答も多く、「困ったことはありません」という答えの児童もいました。保護者の方のA評価が多いことを励みとして、さらに児童の表情や様子から変化を感じ取れる大人でありたいと思います。「このごろ〇〇ちゃんとあんまり遊んでないね」「眠そうだけどちゃんと早寝できてる？」など一人一人をよく観察して声かけをしていきたいと思っています。ご家庭でもお子達の様子で心配な時には担任までぜひ声をかけてください、

⑯ 学校・家庭・地域が連携し、子どもの健全育成に努めている。(保護者)

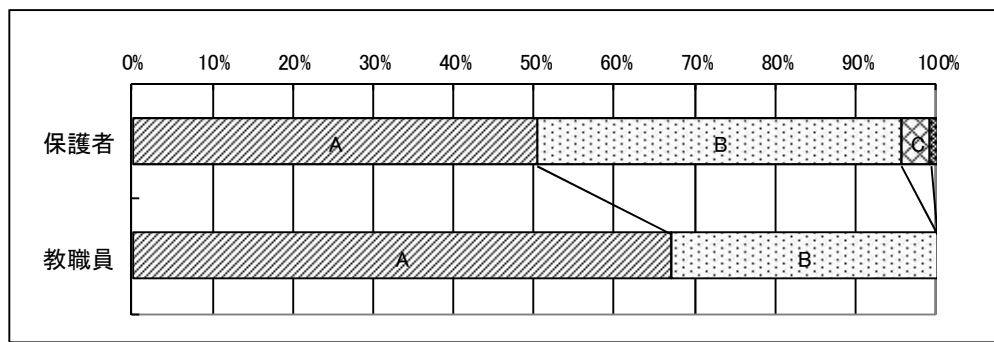
様々な取組や行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。(教職員)



子どもの健全育成のために、学校・家庭・地域の三者が、連携しながら教育を進めていくことは大事なことです。今回のアンケートではA B評価は変わらないもののAについては少し減少しました。今後もより一層連携を深めていき、子どもたちにとってよい効果が見られる取組を進めていきたいと考えます。地域での行事にもたくさんの児童が参加させてもらっています。その行事を通して地域の方と触れ合うことが地域の自慢、子どもの成長に欠かせないものであることを子どもたちにも話していきたいと思っています。

⑰ 子どもや学級・学校の様子が、連絡帳や各種たより・学校ホームページなどからわかる。(保護者)

学校情報の発信ができています。(学校・学級・保健・給食だより、ホームページ等)(教職員)



昨年度よりもA B評価が増えてありがたく思っています。なかなか学校におこしいたさにくい保護者の方々にも、子どもたちの日常の様子がよくわかるようにできるだけ毎日ホームページをアップするようにしています。また、どういう子どもを育てたいのか、こんな好ましい姿が見られた、など児童の成長や課題を共有したいと思っています。学校からのお便りには必ず目を通していただいて貴重なご意見・ご感想をいただけたらありがたいです。

＜保護者の意見＞

- * 忙しさにかまけてあまり子どもの勉強や生活に関心がもててないのがよくないと思っているのですが、日頃から先生方にお任せになり申し訳ないです。
- * 運動会において、組体操の取組における指導者の安全意識が気になりました。今一度来年度に向けて検討していただけると嬉しいです。
- * 6年生になり自主性を大切に子どもたちに任せてくださる機会をいただいているようで、それが少しずつ自信になってきているみたいです。家庭でも落ち着きがあり頼もしいです。
- * 運動会の組体操は素晴らしく、6年生の立派な姿を見せていただきました。多くの先生方が関わってくださっているのがよくわかりました。
- * 宿題が少し少なく感じます。
- * 私たち家族にとっても初めての学校生活、行事です。時々プリントの内容にわからない点が出てきます。何年も学校生活を送られているお母さんに聞くといろいろ教えてもらって分かるのですが。こういった行事で親はどうすれば（どのような行動をすれば）いいかをもう少し詳しく明記していただけると助かります。
- * 日曜参観のアンケートと同様、この紙も学年のみの記入の方が真実性が出ると思います。
- * 音読のサインの欄にちょこちょこ出来事などを書いてくださり、子どもの学校での様子が気楽によくわかり大変助かっています。

＜学校運営協議会の意見＞

- * アンケートの尋ね方によって、評価が変わってしまうこともあると思うので、文言を吟味する必要もあるのではないかな。
- * 子どもの人間関係で縦割りでは優しさが見られることも多いのだが、横の関係でなれ合いの中できついことを言ったり、人間関係が固定化したりしているようなこともあるのではないかな。友達の良さを探しあい、認め合える取組を進めてほしい。
- * アンケートは無記名で、という意見は毎回出るが、責任をもって評価してもらい、それに答えていくべきだと思うので評価については記名式がよい。様々な取組に対する具体的な意見については別途意見箱のような形で吸い上げるのもいいかもしれない。
- * 朝の登校では大宮通はきちんと白線の中を歩いているが、蛸薬師通りでは少し気がゆるんでいる児童も見かける。また、下校の歩き方が広がって話しながら、ふざけたりしながら歩いているので危険に感じている。学校でも家庭でももっと指導すべきだ。